

様式第2号（第5条関係）

平成29年 8月28日

出張報告書

栗山町議会議長 鶴川和彦様

栗山町議会議員 橋崎 孝 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成29年 8月23日 ~ 平成29年 8月23日まで
- 2 旅行先 札幌市 北海道大学公共政策大学院
- 3 目的 自治体財政考察
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 29 年 8 月 23 日 13:00 ~ 18:00
視 察 先	
調査事項	夕張の破綻から学ぶ再生と財政運営 人口減少社会における地方財政
対 応 者	北大公共政策学研究センター研究員 宮松拓史 夕張市長 鈴木直道 関西学院大学人間福祉部教授 小西砂珠
1. 視察目的	
2. 視察内容	1. 夕張市の破綻について 平成18年 財政再建団体 ＜多額の累積赤字を抱えるに至った要因＞ ① 炭鉱閉山による人口減少・歳入減 ② 行財政改革の立ち遅れ ③ 観光施設整備の拡大・ ④ 資金繰り悪化と不適正会計
① 背 景	
② 特 徴	
3. 主な質疑	
4. 考 察	
(感想、政策提言、課題など)	2 健全化法立派の経緯・内容 ＜再生型破綻法制＞ ① 財政情報の開示 ② 財政の健全化 ＜4つの指標・健全化判断比率＞ ① 他会計への赤字転移を許さない ＜健全化法＞ ① 健全段階 指標の整備と情報開示 ② 財政の早期健全化 自主的な改善努力 ③ 財政の再生 国等の関与による再生 3 今求められる財政運営

① 情報公開・統一した財政指標
本町の位置づけ

② 会計間の連絡
他会計への赤字転嫁を許さない

③ 行政の現状と将来
人口推移、出生率・高齢化率
無居住地域への推移(空家・空地
問題)

4 夕張市の取り組み

① エコポイントマイー 市営住宅の統合

② 新エネルギーの導入

③ 公共施設の解体・統合

④ 定住施策 教育、医療、福祉の
充実。

5 人口減少社会における地方財政

① 公金計の活用。

増収台帳の整理

② 公共施設の適正管理と公営企業の
経営のあり方。

- 公営企業 -

○ 独立採算 - 赤字補填なし

○ 償還能力 - 債務超過に達しない